

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2026-04-01

No. 184



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC TS 61000-1-6:2026、IEC 60034-1:2026 などの発行情報.....	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
国際テーマ: AI に関するガバナンス環境の進化	10
国際テーマ: 電化を推進する気候変動とそれに伴うニーズ	11
国際テーマ: インド: IS/IEC 62368-1:2023 への移行の実施に関するガイドライン.....	12
USA: FCC: LG 社スマートドアロックへの FCC 規則適用免除申請に関するコメント募集14	
USA: FCC: KDB: ワイヤレスマイクロホンの承認を受けるための手続き	15
USA: FDA: 1997 年米国 FDA 近代化法: 認知規格リストの変更、認知リスト番号: 065 ..	16
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	16
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	17
USA: IEEE: 新規格リスト	18
USA: OSHA: 「機械のガード」に関するウェブページ	19
カナダ: RABC: 無線標準仕様 RSS-Gen 第 6 版と RSS-310 第 6 版に関する意見募集	20
EU: 機械指令の整合規格情報.....	23
UK: 機械の安全法令に関する「根拠に基づく情報提供の照会」への英国政府の対応.....	24
EU: CENELEC: 新規格リスト	26
EU: ETSI: 新規格リスト	28
オーストラリア: DHA: スマートデバイスのセキュリティ基準	29
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト	30
中国: CQC: 両口金形 (直管) 給電蛍光灯安全認証規格の版切り替えに関する通知.....	31
中国: CQC: プロジェクタの省エネルギー認証における新版認証規格の実施に関する通知32	
中国: CQC: 移動式エアコンの省エネ認証業務開始に関する通知	33
中国: 新規格リスト	33
台湾: BSMI: 通信対応 LED パネル照明の省エネ基準と表示方法を制定	36
台湾: 新規格リスト	37
韓国: RRA: (KS X 3123) 無線設備適合性評価試験方法の一部改正に関する意見募集.....	38
韓国: RRA: 簡易無線等業務用無線設備の技術基準改正案再予告	39
韓国: KS 新規格リスト	40
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正 意見募集 41	
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) の制定・改正情報 (2026 年 3 月分)	42
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	13
ちよつといっぷく~小クイズコーナー - IS/IEC 62368-1:2023 への切替え期限.....	21
コスモス・コーポレーションからのご案内: IP 試験のご案内	22
(株)コスモス・コーポレーション セミナー (zoom) のご案内.....	37
社長の独り言.....	43



[IEC: 規格解説: IEC TS 61000-1-6:2026、IEC 60034-1:2026 などの発行情報](#)

今号に掲載の IEC 新規規格リストから、IEC TS 61000-1-6:2026 (EMC 試験における測定不確かさの評価のための指針)、IEC 61400-40:2026 (風力発電システムの EMC に関する要求事項都市圏方法)、IEC 60034-1:2026 (回転電気機械の定格および性能)、IEC 62133-1 (ポータブル二次電池の安全) の概要を紹介。

[国際テーマ: インド: IS/IEC 62368-1:2023 への移行の実施に関するガイドライン](#)

インド標準・規格局により、情報技術機器のインド規格、IS/IEC 62368-1:2023 への移行の実施に関するガイドラインが公開された。旧規格の IS 13252 (Part 1):2010 および IS 616:2017 と、IS/IEC 62368-1:2023 の並行適用期間は、2028 年 11 月 1 日までである。

IS 13252 (Part 1):2010 → IEC 60950-1:2005 と一致 (IDT)

IS 616:2017 → IEC 60065:2014 と一致 (IDT)

[UK: 機械の安全法令に関する「根拠に基づく情報提供の照会」への英国政府の対応](#)

英国の機械の安全法令に関する情報提供照会および意見交換会から、CE マーキングの継続的受入と、EU と同様の措置の GB 導入への支持が共通して示された。これにより効率性向上、事務負担軽減、EU・北アイルランド市場へのアクセス維持が期待され、特に中小企業にとって重要とされた。一方、CE 受入を継続しない場合はコスト増や供給減の懸念が指摘された。デジタル化 (QR コードやデジタル製品パスポート) も規制対応の効率化の観点から支持された。適合性評価では第三者評価の義務化に賛否が分かれ、相互受入は有益とされた。さらに、CE と UKCA の併存指針、サイバーセキュリティや AI 対応、執行・市場監視の強化の必要性が挙げられた。政府は CE 承認継続と EU に類似した制度導入を進める方針である。

[オーストラリア: DHA: スマートデバイスのセキュリティ基準](#)

オーストラリア内務省は、日常的に使用されるデジタル製品のサイバーセキュリティ向上に取り組んでいる。2026 年 3 月 4 日より「サイバーセキュリティ(スマートデバイスのセキュリティ基準)規則 2025」が施行され、消費者向けスマートデバイスに対し最低限のセキュリティ要件が義務化された。対象は主に家庭用機器であり、パソコンやスマートフォン等は除外される。製造者・サプライヤーには、共通初期パスワードの禁止、脆弱性報告手段の整備、セキュリティ更新期間の明示などが求められる。また、適合声明の付与・保持義務も規定されている。本制度は国際的なベストプラクティスを踏まえ、消費者保護と業界全体のセキュリティ水準の底上げを目的としている。

[経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正 意見募集](#)

電気用品の技術上の基準を定める省令 (平成 25 年経済産業省令第 34 号) に定める技術的要件を満たすべき技術的内容を具体的に示した「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (20130605 商局第 3 号)」について、一部改正 (案) が出され、意見募集が行われている。

EU: 機械指令の整合規格情報

Summary

2026年3月13日付け EU 官報にて、機械指令 2006/42/EC の整合規格に関する委員会実施決定(EU) 2026/546 が公布された。

タイトル: COMMISSION IMPLEMENTING DECISION (EU) 2026/546 of 12 March 2026 amending Implementing Decision (EU) 2023/1586 as regards harmonised standards for packaging machines, rough-terrain trucks, food processing machinery, cranes, cableway installations, agricultural and forestry machinery, lifts, rescue tools, hand-held tools, equipment in railway applications, aircraft ground support equipment, earth-moving machinery and refuse collection vehicles and correcting that Decision

(包装機械、不整地用トラック、食品加工機械、クレーン、索道設備、農林業機械、昇降機、救助用機器、手持ち工具、鉄道用途の機器、航空機地上支援機器、土工機械およびごみ収集車に関する整合規格に関して、実施決定 (EU) 2023/1586 を改正するとともに、同決定を訂正する、2026年3月12日の委員会実施決定 (EU) 2026/546)

URL: https://eur-lex.europa.eu/eli/dec_impl/2026/546/oj

<内容>

- 1) 実施決定 (EU) 2023/1586 の附属書 I (整合規格リスト) の 5、18、113、115、301、365、368、372、401、403、437、457、509、511、512 の各項目は削除。(ただし、2027年1月20日から適用とされており、2027年1月19日までは有効。)
- 2) 同附属書 I の項目 24 と 126 は削除。(2026年3月13日より適用)
- 3) 同附属書 I の 5-a、13a、18a、24a、113a、114a、115a、126a、301a、365a、368a、372a、401a、403a、437a、457a、494a、509a、512a、563a、572-a、572b、573-a の各項目が挿入。(2026年3月13日より適用)
- 4) 同附属書 I 第3部第2項の項目 622a における制限中の「例えば背の高い樹木」(such as tall trees) という文言は、「例えば高所の枝」(such as tall branches) に置き換える。(2026年1月13日より適用)
- 5) 第1条において、第2パラグラフの文言を下記に置き換える。(2026年3月13日より適用)

「本決定の附属書 I 第3部第2項に掲げる項目 24a*、121、126a*、266、324a、343、405、495、495a、502a、513a、622a、671a および 681a に記載された規格の参照は、欧州連合官報に掲載されるか、必要に応じて制限付きで掲載が維持される。」

*コスモス注: 制限付きの規格は 24a の EN 474-1:2022 と 126a の EN 1501-5:2021 です。

Source: EU



◆ 接近度検査試験、防塵・耐塵試験

① IP1X～IP6Xまでの各種プローブ侵入検査試験が実施可能です。

② 大型粉塵試験機にて、タルク粉によるダスト試験 (IP5X、IP6X) が実施可能です。

③ 小型粉塵試験機にて、アリゾナダストによるダスト試験 (IP5KX、IP6KX) が実施可能です。

小型粉塵試験機はその他ご要望のダストに入れ替え可能です。例：関東ローム 7, 8, 11 種など



大型粉塵試験機

槽サイズ: W1500 × H1500 × D1500 (mm)

扉間口: W1400 × H1400 × D1500 (mm)



小型粉塵試験機

槽サイズ: W1000 × H1000 × D1000 (mm)

扉間口: W800 × H800 × D1000 (mm)

評価例: 直径 50mm を超える異物が侵入することは意図していないが、直径 50mm 以下の異物であれば侵入を許容しているような機構設計の製品 ⇒ この場合の等級は IP1X です。

ユーザやオペレータの指が危険な箇所への接近は意図しておらず、埃の侵入は許容しているが、直径 12.5mm の異物は侵入しないような機構設計の製品 ⇒ この場合の等級は IP2X です。

直径 1mm の細い工具等を使用したユーザやオペレータによる危険な箇所への接近は意図しておらず、埃の侵入は許容しているが特定箇所への堆積は意図していない機構設計の製品
⇒ この場合の等級は IP5X または IP5KX です。

直径 1mm の細い工具等を使用したユーザやオペレータによる危険な箇所への接近は意図しておらず、埃の侵入も許容していない製品 ⇒ この場合の等級は IP6X または IP6KX です。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

社長の独り言

2026年3月20日

濱口 慶一

皆さん、こんにちは。

春の訪れが感じられ、朝夕の空気にも季節の変化が表れる時期となりました。年度の節目を迎えるこの時期に、私はこれまでの歩みを振り返りながら、当社がこれからどのような価値を提供し続けるべきかを改めて考えております。

最近、私が AI を秘書のように活用しているという話を耳にされた方もいらっしゃるかもしれません。実際にその通りですが、判断そのものを AI に任せているわけではありません。私が AI に求めているのは、規格の解釈や日々の疑問に対して、製品安全評価・認証業の歴史的背景を踏まえた理解ができているかを確認することです。また、自分の考えの整理や、製品安全に関する見方に偏りがないかの確認、さらに提案書や各種文書の表現および論旨の点検にも活用しております。

しかし、お伝えしたいのは AI の有用性そのものではありません。AI はあくまで道具です。最終的に判断し、責任を負うのは人であり、その人の良心と組織の哲学です。当社が今日まで成長してきたのは、一人の力によるものではなく、多くの人の積み重ねによるものです。お客様と向き合い、信頼を築いてきた一つひとつの取り組みが、現在の当社を形づくっています。

だからこそ、私たちは常に次の姿勢を大切にしたいと考えております。
業界に義を尽くすこと。お客様に義を尽くすこと。

ここでいう「義を尽くす」とは、単なる精神論ではありません。目の前の案件を丁寧に仕上げること、規格の記載だけで思考を止めることなく、その製品が市場で長く安全に使用される姿まで想像すること、そして不安を抱える方の立場に立って対応すること——これらすべてが実践です。

春になると、日本蜜蜂は分蜂の時期を迎えます。一つの群れが新たな命を育み、役割を分担しながら新しい場所へ広がっていきます。その姿には、自然の厳しさとともに、受け継がれる秩序と知恵が表れています。組織も同様に、個々の力だけでなく、全体が目的を共有し、それぞれが役割を果たすことで、持続的な強さが生まれます。

当社は、知識や哲学、志を受け継ぎながら、次の時代へ確かな価値を届けていく存在であり続けたいと考えております。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ(EMC, Safety and Energy Conservation)**分野に係わる、世界の主要機関・地域において実施され、かつ電気電子製品に適合が求められている規格/法規制に関連する情報をお届けします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えていただけることが本誌の目標です。情報源を明示しますので、読者の皆様の関心の大きさに応じてさらに深掘りしていただくことができます。

本誌の内容は、各国の規制・規格の対象製品の試験、認証、開発、管理に携わる方々にとり必読です。

- 対象機関・地域: IEC 等国際機関、ならびに、FCC、UL を含む米国、EU、CENELEC、CEN を含む欧州、その他オセアニア及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: 上記の対象機関・地域のウェブサイトもしくは情報サービス。また、ご協力の同意をいただいた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの、当該分野の識者の方から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで ishii-keisuke@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、46 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記ウェブサイトの運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可をいただいております。翻訳転載された記事の著作権は原著者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the website information from the above listed organizations with each organization's conditions. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全(Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2026-04-01(No. 184)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一 編集担当: 山中慎一

© 2025 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。